

2～3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

27,825円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	16,184円
交通費(燃料代)	7,919円
通信費(携帯電話代)	3,722円
支出計 22/2/1～22/3/31	27,825円

市政を考える

月刊武松

発行日
22/4/1

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第201号

20300部発行

2022年度予算可決

予算総額1709億円 一般会計710億円 共に過去最大

予算編成時では、コロナ禍からの回復が見込まれ**税収増**としていましたが、ロシアのウクライナ侵攻による影響が盛り込まれていません。これは、**次年度に税収減となって表れるため、それに備えた慎重な財政運営が必要**となります。

新規事業は、デジタル化関係が目玉となっていますが、全体的には、継続すべきものは継続されています。

また、新型コロナウイルス感染者数が高止まりしている中での緊急事態宣言解除となり、家庭内感染が増えています。当面は各自が、**感染防止対策を徹底**しなければなりません。

■2022年度予算規模

歳入は、市税が319.0億円2.90%増の見込みです。

図1の**義務的経費は1.29%増**。その他経費は、物件費が124.2億円5.82%増です。**投資的経費は、合葬式墓地や学校給食センター整備等で6.66%増**です。

図2の義務的経費中の**扶助費は、204.5億円** 前年比**0.29%減**となりましたが、介護保険等他会計繰出金が増加しています。

一般会計	710億0000万円(+ 2.31%)
特別会計(10会計)	664億4477万円(+ 9.54%)
企業会計(3会計)	334億5814万円(+ 2.83%)
全会計(14会計)	1709億0292万円(+ 5.11%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税	319億0100万円(+ 2.90%)
(2)地方交付税	16億0000万円(+ 33.3%)
(3)市債(借金)	47億6550万円(- 11.6%)
うち臨時財政対策債	19億0000万円(- 32.1%)

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備	48億9462万円(+ 6.66%)
(2)義務的経費：人件費+扶助費+公債費	
うち人件費	372億1145万円(+ 1.29%)
扶助費	117億1882万円(+ 1.18%)
公債費(借金返済)	204億5008万円(- 0.29%)
扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成	50億4256万円(+ 8.51%)

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

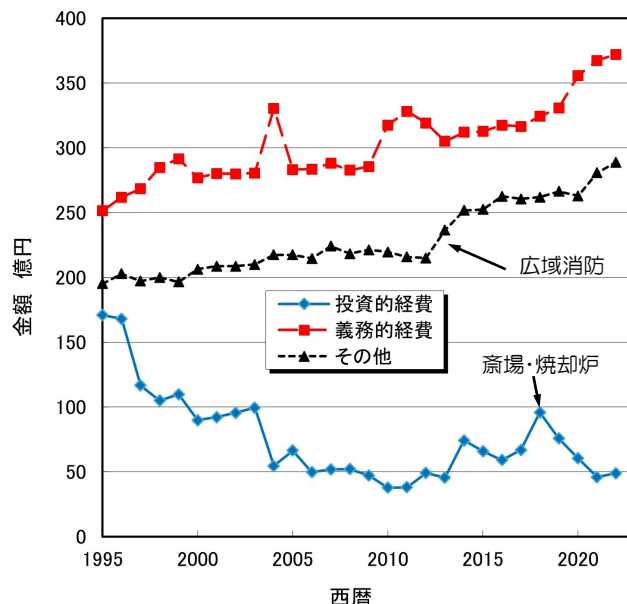
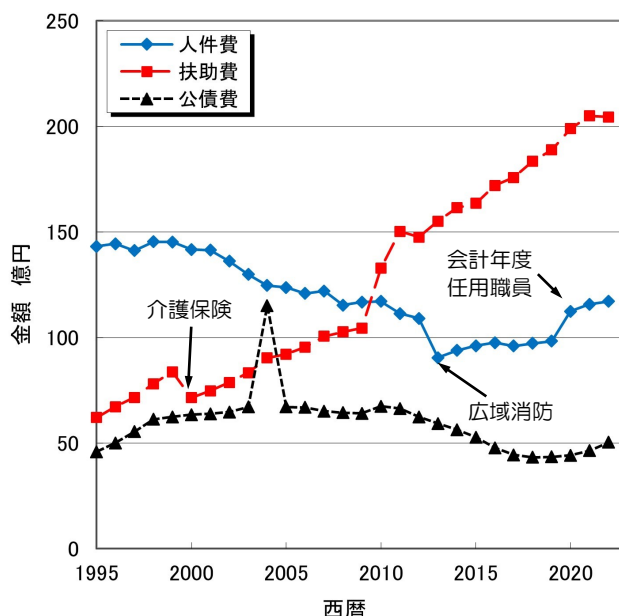


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



主な事業の予算額

■一般会計の主な事業の予算額

新年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。

民生費

- 生活保護費 63億4425万円(+8073万円)
- 児童福祉費 97億7411万円(+9567万円)
- 障害者福祉費 54億1295万円(+1億円)

教育費

- ICT教育推進事業 2億5296万円
2025年度末までの端末借上料、ソフト、運用・保守、機器活用支援経費等の総額
- 学校給食センター整備事業 2億1516万円

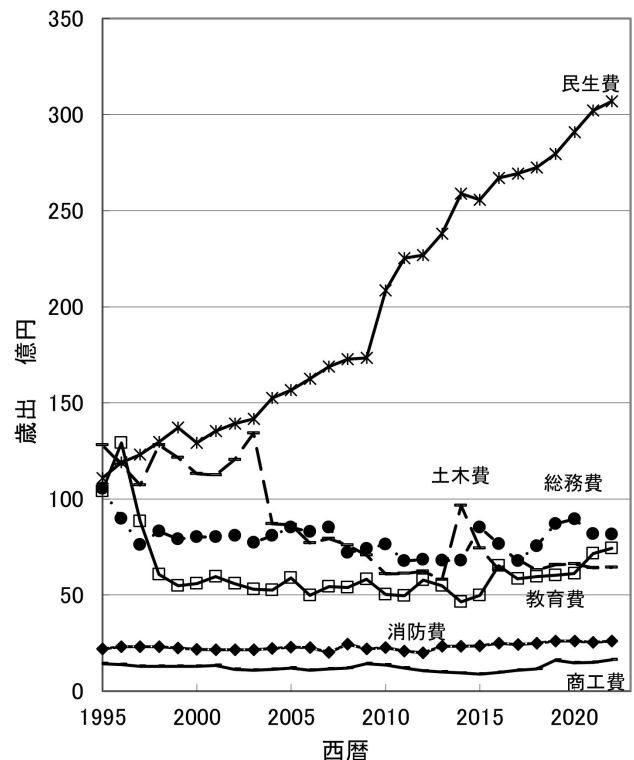
総務費・土木費他

- イノベーション推進事業 1747万円
おだわらイノベーションラボ運営、民間提案制度運用他
- デジタル化推進費 5億0242万円
◎ゼロカーボンデジタルタウン、キャッシュレス決済他
- 再開発事業補助、小田原駅西口広場等機能拡充検討委託料等 2億2965万円
- 市民ホール管理運営事業 2億0148万円

■特別会計・企業会計

- 競輪事業特別会計 186億6200万円(+ 28.4%)
- 天守閣事業特別会計 1億2000万円(- 0.83%)
- 国民健康保険事業特別会計 201億3900万円(+ 1.07%)
- 国民健康保険診療施設事業特別会計 3200万円(- 3.03%)
- 公設地方卸売市場事業特別会計 1億7200万円(+ 20.3%)
- 介護保険事業特別会計 172億8100万円(+ 6.07%)
- 後期高齢者医療事業特別会計 49億5800万円(+ 2.16%)
- 公共用地先行取得事業特別会計 77万円(+0.00%)
- 広域消防事業特別会計 45億1200万円(+ 4.32%)
- 地下街事業特別会計 5億6800万円(+ 34.3%)
- 水道事業会計 55億2456万円(+ 1.47%)
- 病院事業会計 158億1617万円(+ 7.77%)
- 下水道事業会計 121億1739万円(- 2.40%)

図3 小田原市の一般会計主な歳出推移(当初予算)



ゼロカーボン・デジタルタウン 創造事業

デジタル関係施策は、カタカナ語が多くて困惑します。デジタルタウンということで仮想の街でも作るのかと思ったら、湘南T-SITEのあるFujisawa SSTのようなものを想定しているようです。市の関わり方がまだよくわかりませんが予算説明資料より転記します。

市内(少年院跡地等を想定)に最先端のデジタル技術を活用し、**脱炭素とエネルギーと経済の地域好循環**を実現する新しい街である**ゼロカーボン・デジタルタウン**を、市内外の産学官の緊密な連携の下で創造することにより、本市の「2050 年脱炭素社会実現」に向けた取組を大きく加速する。

併せて、「ゼロカーボン・デジタルタウン」の成果(技術、ノウハウ等)を市内外に横展開することにより、わが国や世界の脱炭素化に貢献する。

■スケジュール(予定)

2022年度 準備開始

庁内の体制構築、要件整理、事業計画案の構築等

2023年度 基本構想(予想図)取りまとめ等

■お知らせ■

都合により5月の発行配布は中止します。
議会報告会は、当面の間、中止します。



公式HP
月刊武松パワパ-他



twitter
防災・感染症情報



facebook



2022年度
予算概要



▲北條五代祭りにて
5/3 開催